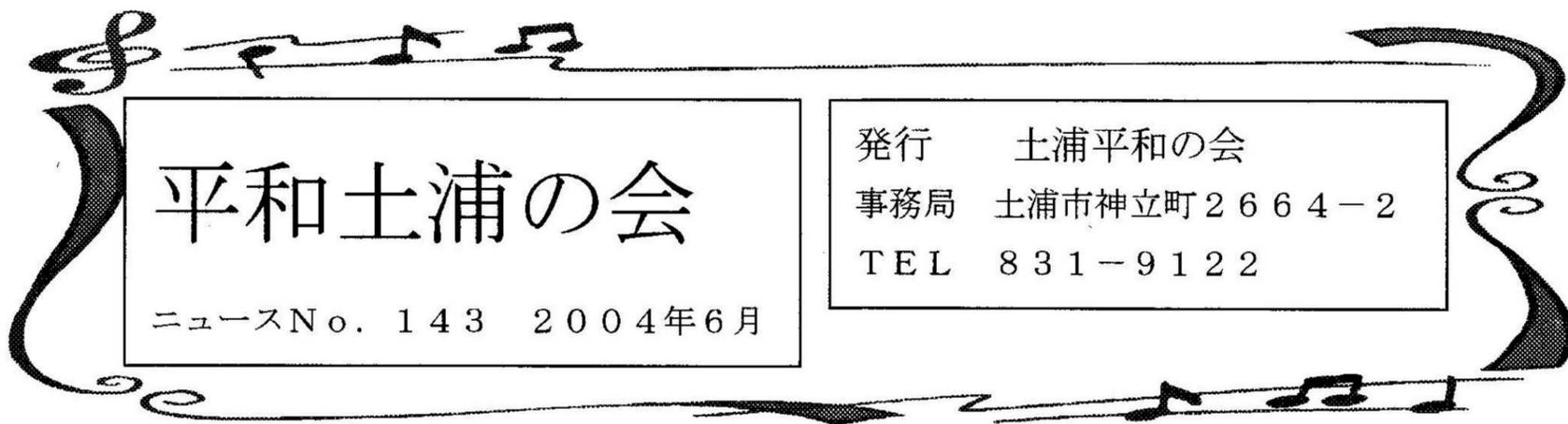


私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



第11回 平和の会総会が終わりました

5月15日(土)の午前10時から、土浦平和の会総会が神立コミュニティーセンターで開かれました。参加者は15人でちょっと少ない総会でしたが、平和の会の1年間の活動を振り返って、平和、民主団体との協力共同が一層強まった事を確認しあいました。県平和委員会の伊達事務局長は、県段階でも協力関係が強化され、憲法改悪反対では一緒に行動できる態勢が作られ始めていると報告しました。

新しい支部役員

代表理事 斎藤 房雄

理事 大滝誠 久保田栄吉 佐藤文雄 前川吉 山口雪雄

事務局 井上仁志 (会計担当) 小澤則光 柳田まり子

監査 船津寛 久松一枝

日本平和委員会 定期全国大会



つくばグランドホテルで開催 (6月5・6日)

第54回定期大会は11年ぶりに茨城県で開かれました。全国から集まった300人の代表が、各地域の創意工夫をこらした活動の様子を報告しました。土浦から参加したのは、1日目5人、2日目3人で計8人でした。報告の中でも特徴的だったのは岡山県水島平和委員会に見られるように20人の事務局員のうち大半が20歳代の若者である例や京都府福知山のように会長も事務局長も会計も20歳代の女性という例もあるのは驚きでした。一方東京北区平和委員会のように70歳代の高齢者ががんばっているところもあり、参加者の顔ぶれからそれが大半ではないかと思われました。

議案も“若者の参加”“女性の参加”を広げようと呼びかけています。土浦では女性の参加が3分の1以上で平均以上になっていますが、若者の参加を広げる努力が必要でしょうか。イラク署名や憲法署名で一番協力してくれるのが若者だということも考えてみる必要があると思いました。 井上仁志